



# 2018年3月期 中間決算説明会 (第2四半期累計)

2017年11月20日

 **ワイエイシーホールディングス 株式会社**

(証券コード: 6298)

<http://www.yac.co.jp>

## ▲ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼン資料で述べる将来の当社に関する見通しは、現時点での情報を元に作成したものです。

当社グループのお客様である半導体等の業界は技術革新のスピードが速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、各業界市況、設備投資の動向は、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

# Contents

1. **ご挨拶、決算の総括**  
..... **代表取締役社長** **百瀬 武文**
  
2. **2018年3月期中間連結決算の概要**  
..... **取締役 常務執行役員** **寺本 和政**
  
3. **2018年3月期連結決算の見通し(概要)**  
..... **代表取締役社長** **百瀬 武文**
  
4. **2018年3月期連結決算の見通し(詳細)**  
..... **取締役 常務執行役員** **副島 幸雄**
  
5. **質疑応答**



# 1. ご挨拶、中間決算の総括

..... 代表取締役社長 百瀬 武文

# 1 中間決算の総括



- 高利益案件の売上計上遅れにより計画を下回りましたが、受注は順調に推移しており、通期計画は据え置きました。
- ディ스플레이関連事業
  - ・今期計画通りに推移しております。
- メカトロニクス関連事業
  - ・売上が間に合わなかった為、計画を下回りました。
  - ・ワイエイシイエレックス(前年下期より連結)が期初から業績に寄与しております。
- クリーニングその他関連事業
  - ・国内需要動向を踏まえ、改革を進めております。



## 2. 2018年3月期中間連結決算の概要

..... 取締役常務執行役員 寺本 和政

# 2-1 事業結果



(単位:百万円)

	2017年3月期 第2四半期 連結累計期間	2018年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
売上高	17,264	12,033	△5,231	△30.3%
営業利益 (営業利益率)	584 (3.4%)	233 (1.9%)	△350	△60.0%
経常利益	338	310	△28	△8.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	263	151	△112	△42.6%
1株当たり 四半期純利益(円)	29.49	16.92	△12.57	—
研究開発費	209	280	70	33.7%
設備投資額	109	326	217	198.6%
減価償却実施額	243	282	38	15.9%

ガーターキャリアテープ関連、大分工場改修など

## 2-2 事業別売上金額



ディスプレイ関連は前年比減少。

(単位:百万円)

前年下期より連結のワイエイシイエレクトクスが当期は期初から業績に寄与。

	2017年3月期 第2四半期 連結累計期間	2018年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
ディスプレイ関連	10,407	4,184	△6,223	△59.8%
メカトロニクス関連	6,120	7,220	1,099	18.0%
		ワイエイシイエレクトクスが期初から業績に寄与		
クリーニングその他関連	736	629	△107	△14.6%
合計	17,264	12,033	△5,231	△30.3%



# 2-3 事業別受注・受注残金額

※連結ベース  
※クリーニングは  
受注額=売上額



ディスプレイ関連：中国案件の増加

メカトロニクス関連：ワイエイシイエレクトスの加入による増加

(単位:百万円)

	区分	2017年3月期 第2四半期 連結累計期間	2018年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
ディスプレイ関連	受注	2,949	11,100	8,151	276.4%
	受注残	3,031	12,313	9,282	306.2%
メカトロニクス関連	受注	4,968	8,706	3,737	75.2%
	受注残	3,432	5,922	2,490	72.6%
クリーニングその他 関連	受注	736	629	△107	△14.6%
	受注残	0	0	0	—
合計	受注	8,654	20,435	11,781	136.1%
	受注残	6,463	18,236	11,772	182.2%

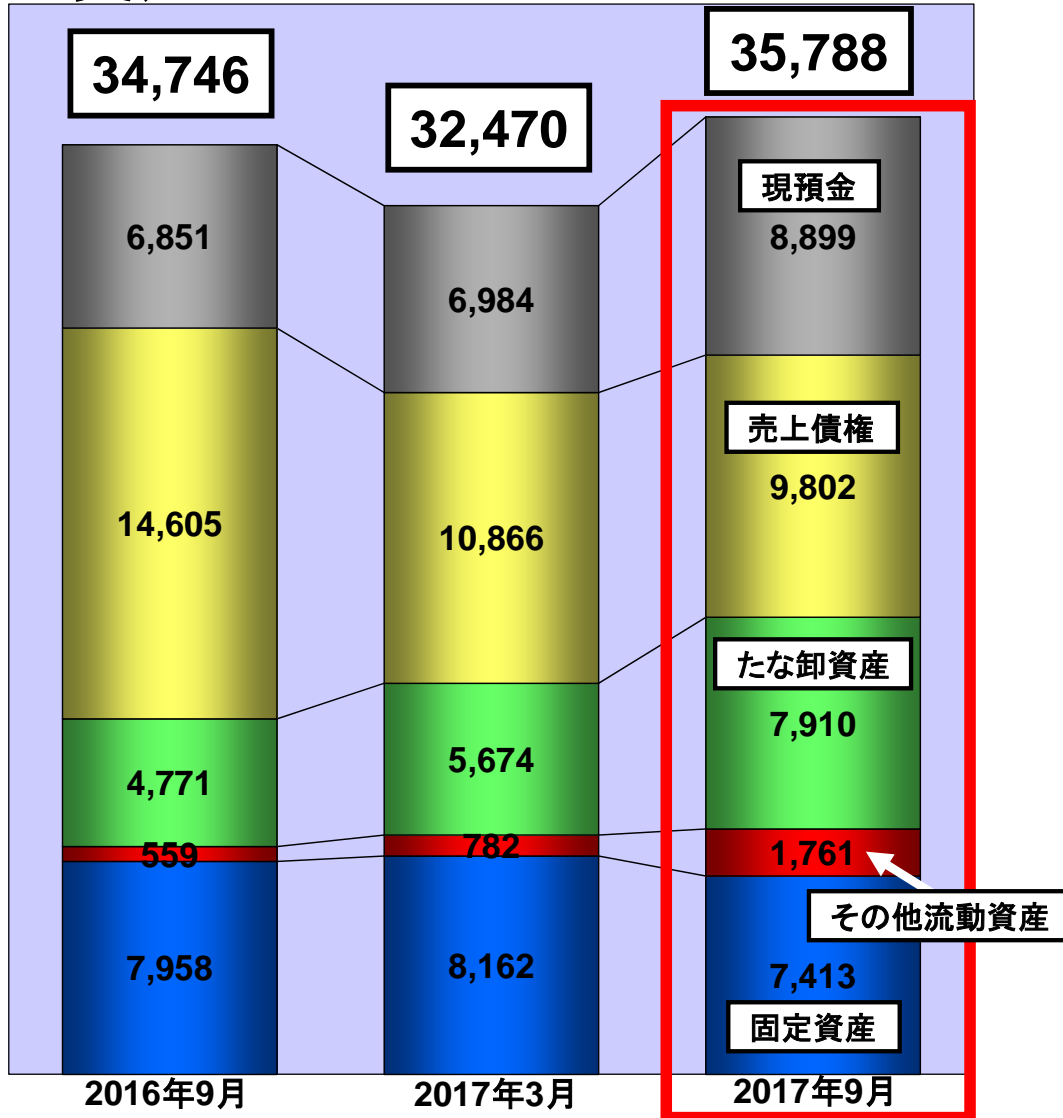
# 2-4 貸借対照表のレビュー



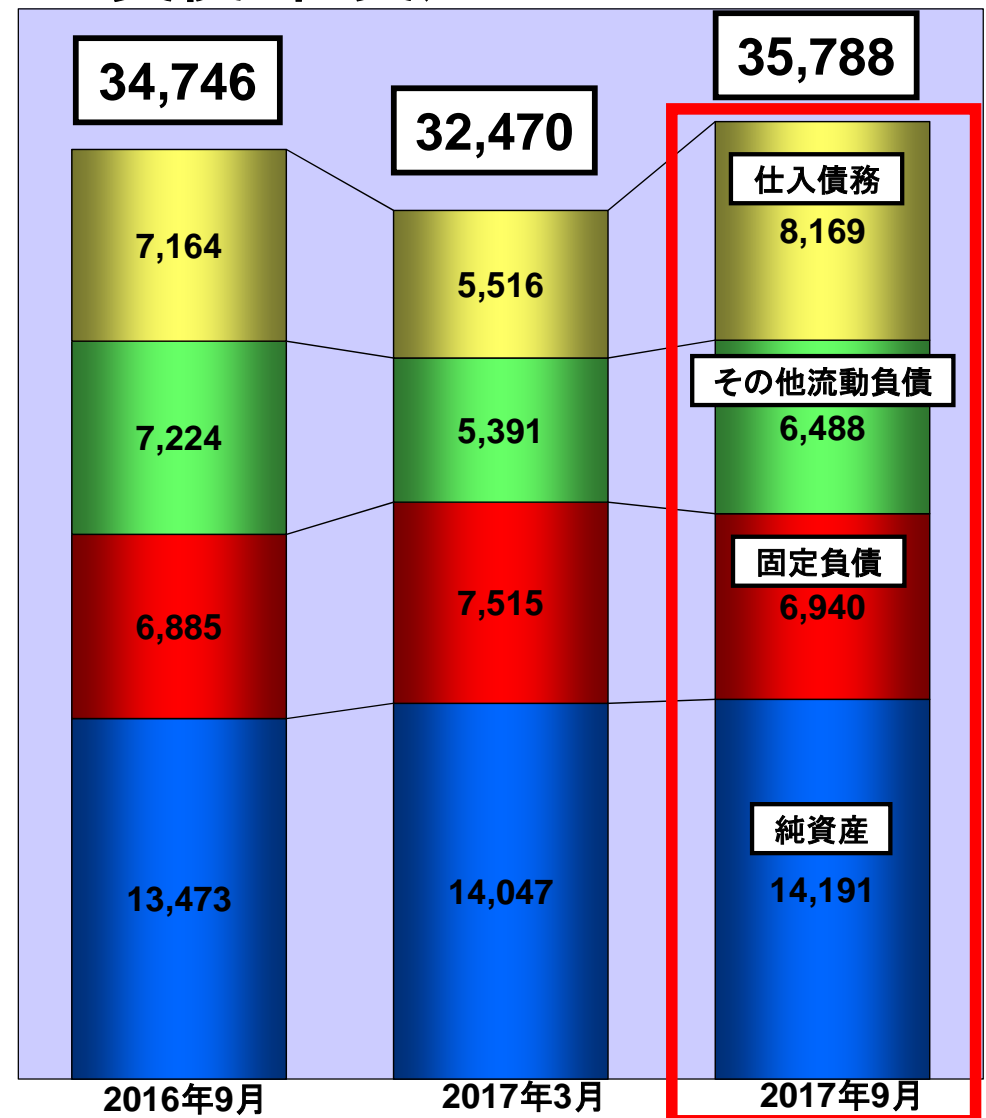
受注残の増加により、たな卸資産が増加。

上期末日が休日のため、資産側「現預金」と負債側「仕入債務」が増加。

＜資産＞ (単位:百万円)



＜負債・純資産＞ (単位:百万円)



## 2-5 キャッシュフローのレビュー



**営業キャッシュフローは引き続き20億円台の黒字を維持。**

(単位:百万円)

	2017年3月期 第2四半期 連結累計期間	2017年3月期 第2四半期 連結累計期間	2018年3月期 第2四半期 連結累計期間
営業活動によるC/F	2,665	4,354	2,245
投資活動によるC/F	△1,038	△1,307	△376
財務活動によるC/F	△64	△1,463	50
現金及び現金同等物の 期末残高	6,564	6,703	8,607



# 3. 2017年3月期連結決算の見通し(概要)

..... 代表取締役社長 百瀬 武文

# 3-1 2017年度下期の最重点項目



《2017年度連結業績予想》（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
通期	35,000	2,000	1,500	1,000

《2017年度下期の最重点項目》

**通期営業利益20億円必達**

## ■通期営利20億円達成に向かって(20大作戦)

### 1. 受注キャンペーンの展開

(キャンペーン期間：9月～12月 週単位で集計)

- ・今期売上の増加
- ・来期に向かっての受注残の確保

### 2. 粗利改善への取組

- ・ワイエイシイテクノロジーズ社の利益体質構築
- ・依命システム(粗利確保)の完全運用
- ・完成機出荷
- ・ミスの防止

# 3-3 ワイエイシー全体の取組



## ■現在注力している主な取組

取組	目的
1. 10年後のビジョンの策定	将来の目標を明確化
3. 働き方改革(生産性向上)	効率UP、ムダ防止
4. 開発製品のスピードアップ	新量産製品の発掘、差別化
5. 社員の経営参画	全員経営、モチベーションUP
6. 積極的なM&A	規模の拡大



～より多く社会に貢献するために～

## 「究極の理念」の実現を目指す

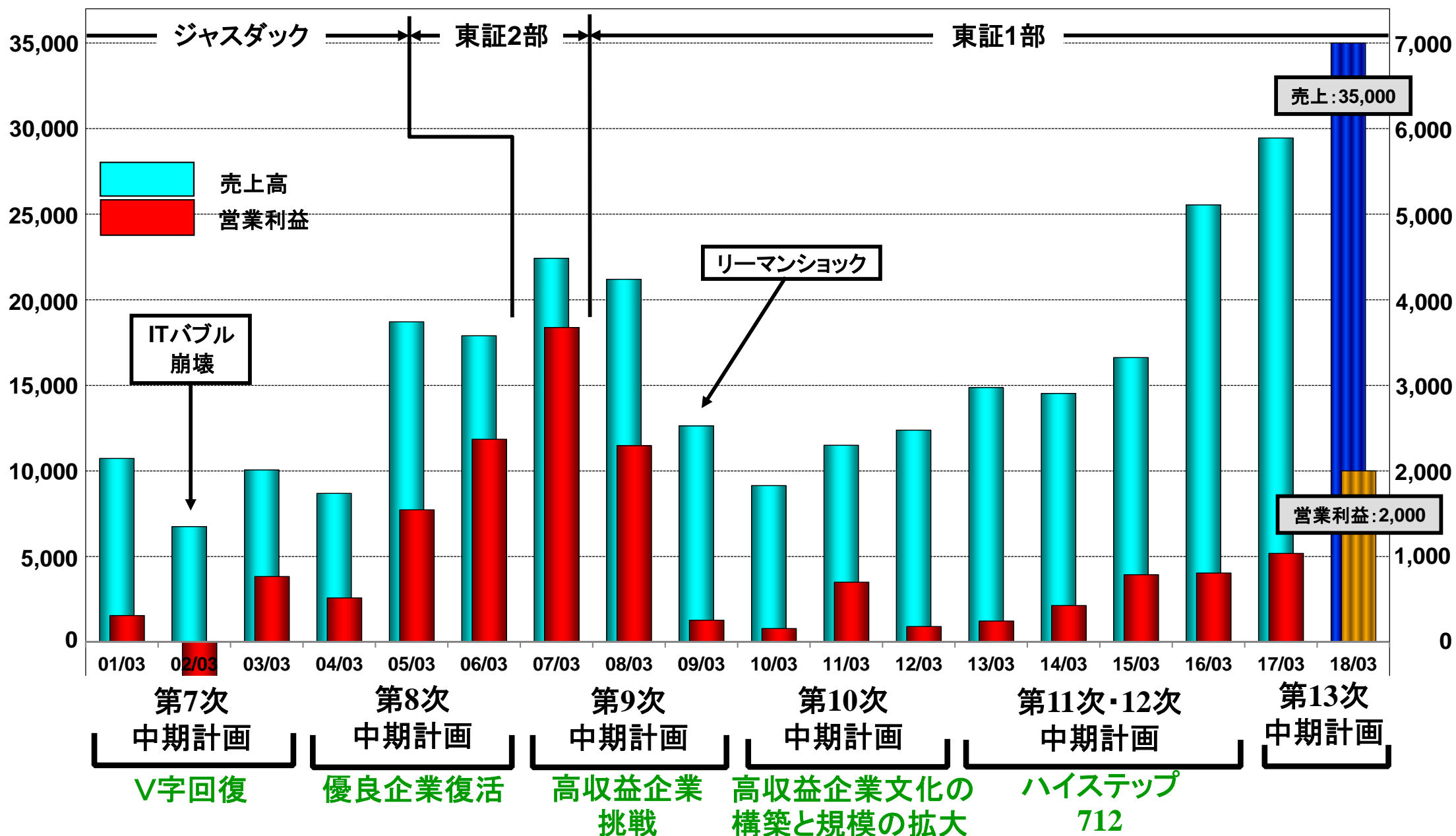
- |         |           |
|---------|-----------|
| 1.社員の成長 | 3.雇用条件の向上 |
| 2.雇用の拡大 | 4.納税額の拡大  |

# 3-4 過去の業績と2018年3月期見込



売上高

(単位:百万円) 営業利益







## 4. 2017年3月期連結決算の見通し(詳細)

…………… 取締役常務執行役員 副島 幸雄

# 4-1-1 事業環境と重点施策



## 《ディスプレイ関連事業》

事業環境	重点施策
FPD需要の拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>・G10.5の各装置の受注拡大</li><li>・G6のシェア拡大</li></ul>
有機EL対応拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>・スマホ用の高速タクト装置の開発</li><li>・封止膜エッチングの対応</li><li>・新プラズマ源による高付加価値エッチングの対応</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・フレキシブルパネルへの対応。</li></ul>
新技術対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・量子ドット、マイクロLED対応</li></ul>

# 4-1-2 事業環境と重点施策



## 《メカトロニクス関連事業》

事業	事業環境	重点施策
半導体	パッケージ革命	・キャリアテープやテープマシンの需要増
	パワー半導体 自動車	・Si IGBTやSiC-MOSFET用外觀検査、 レーザーアニールの増加 ・モーター用ネオジウムカット・研磨
	IoT関連	・MEMSなどのセンサー向のエッチング 装置需要増
医療	海外向透析装置	新興国向透析患者急増による需要増
電力	再生エネルギー	逆潮流テレメーターの需要増加。 電力監視装置の増加。

# 4-1-3 事業環境と重点施策



## 《クリーニングその他関連事業》

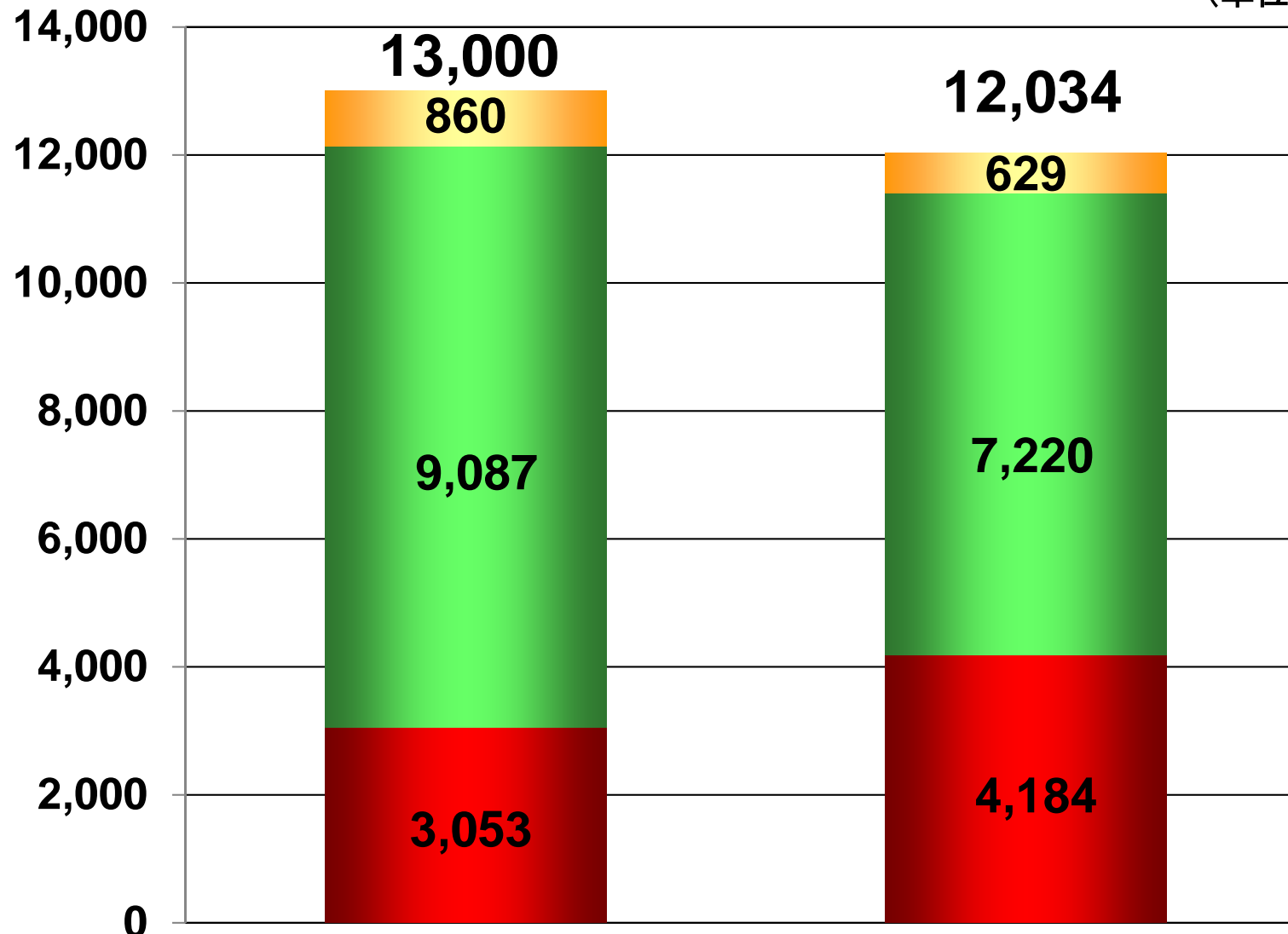
事業	事業環境	重点施策
クリーニング	国内需要は成熟化	シェア拡大の為の新機種投入、エリア戦略を実施。 積極的なM&A展開。
	新興国の需要高	北米、欧州に加えアジア戦略を展開。
	訪日外国人の増加	リネン関連事業の拡大。

# 4-2 上期売上計画と実績



売上高

(単位:百万円)



- クリーニングその他関連
- メカトロニクス関連
- ディスプレイ関連

2018年3月期  
計画

2018年3月期  
実績

# 4-3 2018年3月期連結見通し



(単位:百万円)

	2017年 3月期 (実績)	2018年 3月期 (見込)	前年比 増減額 (見込)	前年比 増減率 (見込)
売上高	29,452	35,000	5,547	18.8%
営業利益	1,036	2,000	963	93.0%
経常利益	1,122	1,500	377	33.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	790	1,000	209	26.5%
1株当たり 当期純利益(円)	88.51	111.99	—	—

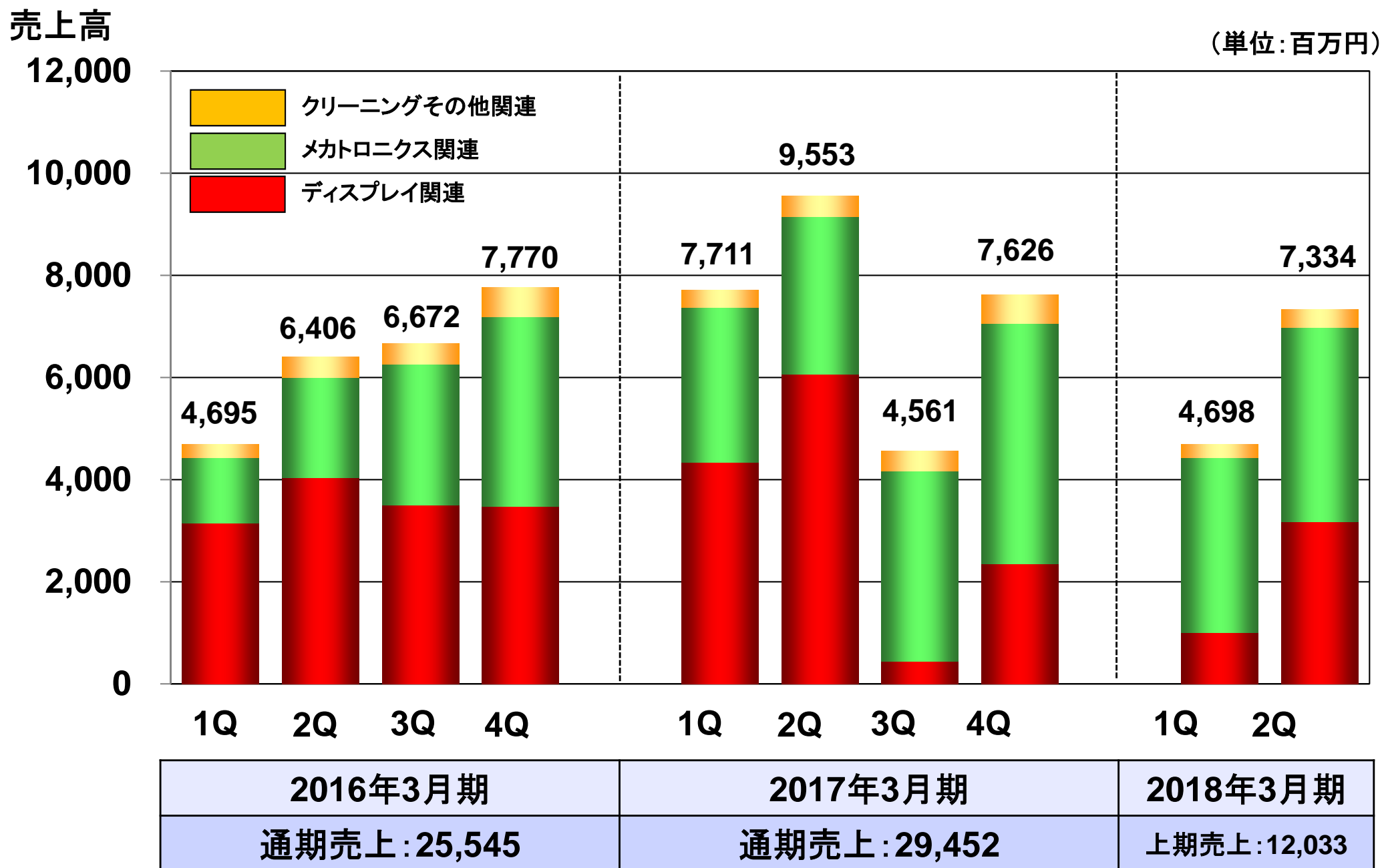
# 4-4 事業別売上見通し



(単位:百万円)

	2017年 3月期 (実績)	2018年 3月期 (見込)	前年比 増減額 (見込)	前年比 増減率 (見込)
ディスプレイ関連	13,207	13,500	292	2.2%
メカトロニクス関連	14,555	19,300	4,744	32.6%
クリーニングその他関連	1,689	2,200	510	30.2%
合計	29,452	35,000	5,547	18.8%

# 4-5 四半期毎売上高推移



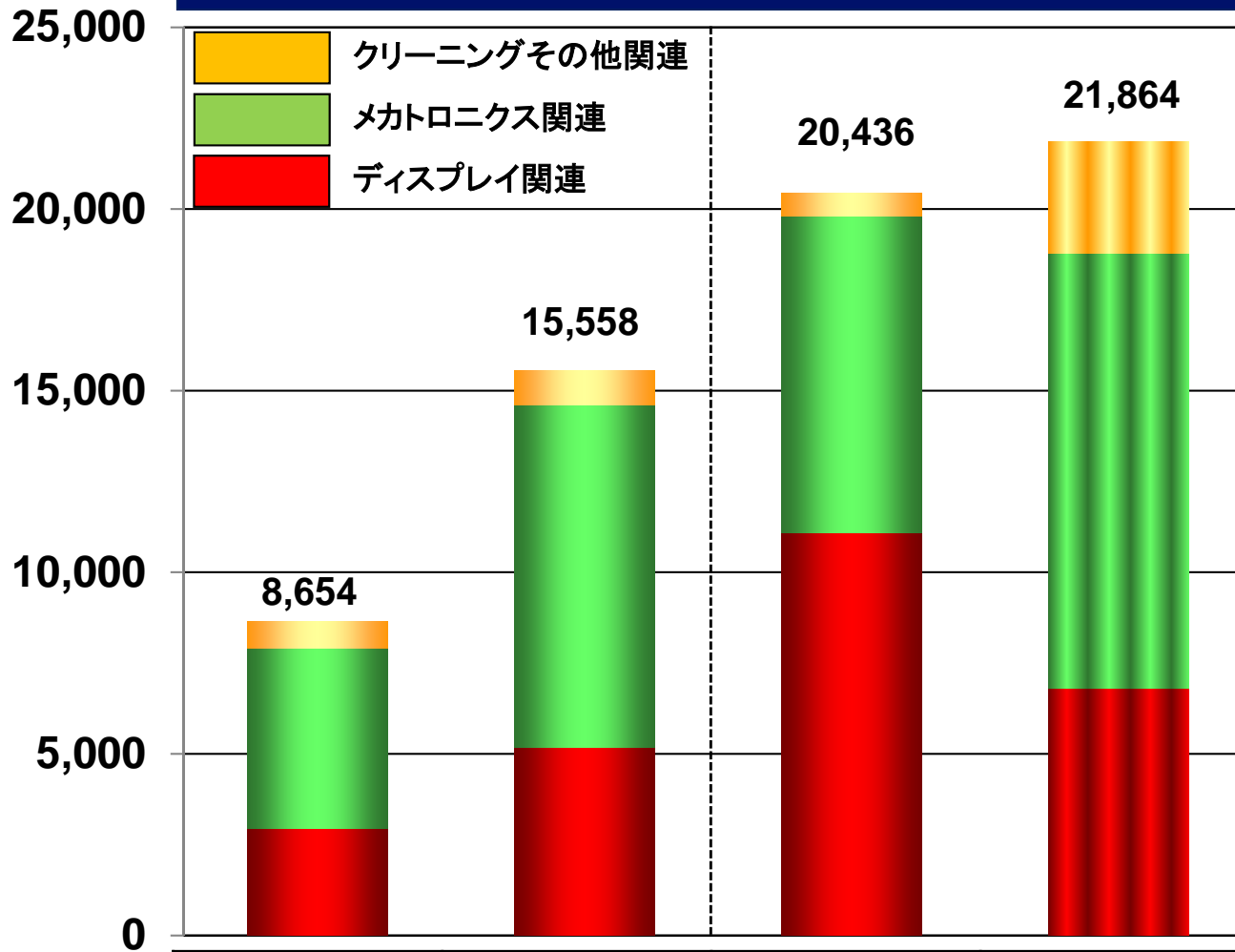


# 4-6 セグメント別受注高・受注残高推移



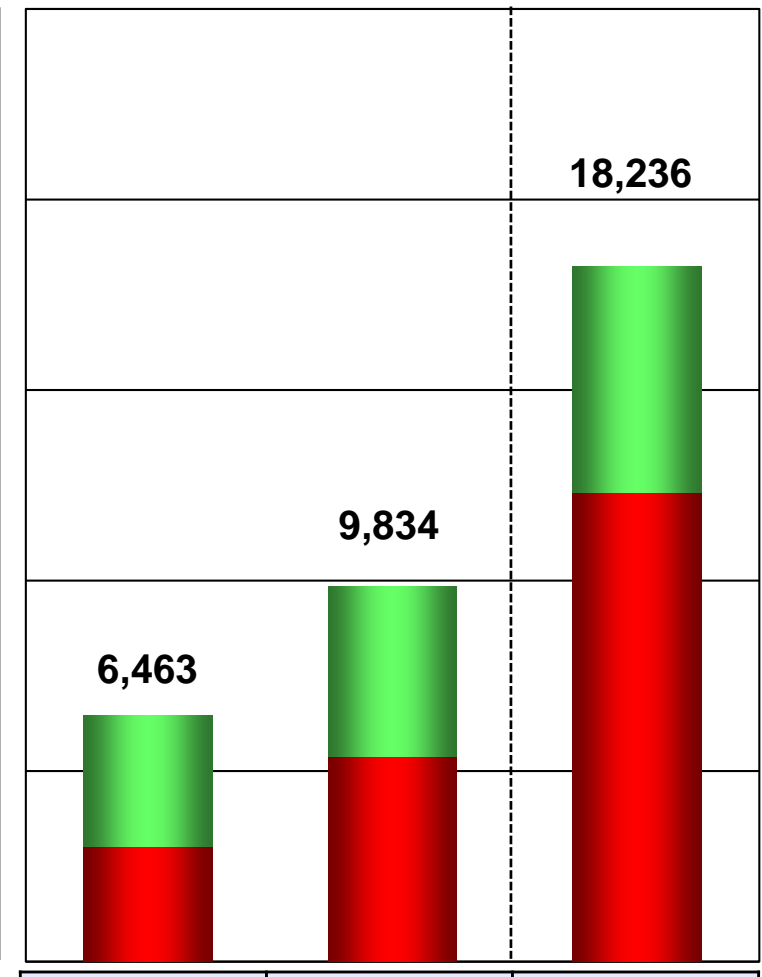
(単位:百万円)

## 受注高



上期	下期	上期	下期(見込)
2017年3月期		2018年3月期	
通期受注高 24,212百万円(実績)		通期受注高 42,300百万円(見込)	

## 受注残高



上期	下期	上期
2017年3月期		2018年3月期



さあ今日も、

ときめきと感動の日々であれ！

数字の処理について

記載されている金額は百万円未満を切り捨て、その比率については小数第2位を四捨五入しています。

しなやか先端技術企業集団  
ワイエイシイグループ